

学校へ行こう

昼休み時間に全員集合、笑顔で撮影。



図書館に行こう

- 開館 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日
- 問い合わせ先 串間市立図書館 館内 72-1177
- 問い合わせて先 串間市立図書館 72-1177
- 開館 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日

「今月の新刊」

春 の小夜(松本侑子) ブラックチェーンバー(大沢在昌) とうさんは、大丈夫(佐川光晴) 「人間失格」殺人事件(吉村達也) 命もいらず名もいらず(山本兼一) おたふく(山本一力) 小さな理由(森浩美) Rai way Stories(大崎善生) 下流の宴(林真理子) 波羅蜜(藤沢周) ピストルズ(阿部和重) 真昼なのに昏い部屋(江國香織) 我★神(花村萬月) 光媒の花(道尾秀介) エデン(近藤史恵) 知識ゼロからの天気予報学入門(天達武史) 京都駅0番ホームの危険な乗客たち(西村京太郎) それいゆ(生田紗代) ブギウギ(坂東真砂子) 天国旅行(三浦しをん) プライド(真山仁) 男の背骨(山本一力) モンスター(百田尚樹) オー! ファーザー(伊坂幸太郎) 高く手を振る日(黒井千次) あのとき始まったこと(中村航) 御隠居忍法魔物(高橋義夫) 神苦楽島(内田康夫) 乱心タウ(山田宗樹) 主よ、永遠の休息を(菅田哲也) リアル・シンデレラ(姫野カオルコ)

5月のテーマ展示

「作家特集 赤羽末吉 & レオ・レオニ」



今年、絵本作家の赤羽末吉とレオ・レオニが生誕100年を迎えます。昔話や民話の中に日本独特の文化を感じさせる赤羽。心暖まるストーリーと繊細でデザイン性に富む画風のレオニ。二人の作家の世界をぜひ手にとって感じてください。

新 13歳のハローワーク



村上 龍/著

国語、社会、体育など、好きな科目の扉を開けると、胸がときめく職業図鑑が広がる。好奇心を対象別に分け、その対象の先にあると思われる仕事・職業を紹介する。現代をサバイバルするための仕事の大百科。前作に89の職業を追加。

鼠、闇に跳ぶ



赤川 次郎/著

その名も世に聞こえた盗賊・鼠小僧。しかし鼠の顔は遊び人?! 情け深く気っ風のよい次郎吉が、小太刀の達人・妹の小袖とともに、江戸の正義を守って、夜な夜な大活躍する、人情の機微をいきいきと描く、胸すく熱血時代小説。

交流員レポート

第8代国際交流員ジュリアンの日本体験記

ゴールデンウィーク

ゴールデンウィークと聞くだけでウキウキする人も少なくないかと思いますが、自分もその内の一人です。その中でもかなり浮かれている方だと思っています。何故かと言うと、ニュージーランドにゴールデンウィークのような連休はありません。唯一あるのがイースター(復活祭)で4連休。イースターと聞いて分かる方もいるかもしれませんが、宗教的なお休みです。ところが最近ではクリスマス同様、宗教的な目的で祝う人は少ないです。イースターになると卵の形をしたチョコレイトがスーパーにずらりと並びます。「イースターバニー」といううさぎがチョコレイトを持って来るといいう行事になりつつあります。日本のバレンタインもそうなのですが、チョコレイトの会社は商売上手ですね。



イースター・エッグのチョコ

This month's expression
今月の表現
 Have a good ○○.
 ○○を楽しんで
 Example: have a good holiday!
 例: 休みを楽しんで!



ニュージーランドの社会人は休みが少ないと言いますが、1年にもあたる有休は平均で20日、それを全部使わないなんて事はだれもしません。「仕事外の時間を楽しむために働く」この考え方がニュージーランド人のマイペースな雰囲気を作っているのだと思います。ゴールデンウィークには長崎と佐賀に遊びに行きます。いよいよ遠出ができるチャンスなのでめいっばい楽しんでいきます! 皆さんも良い連休を!

少人数を最大に生かした教育を

一人ひとりを大切に育て、力を伸ばしていきます。

今回紹介するのは串間市立秋山小学校(福島啓介校長・児童数17人・職員数7人)です。**表現力を高める取り組み**
 秋山小学校では表現力を向上させるための活動に取り組んでいます。毎朝、子どもたちは登校すると玄関前から校舎に向かってその日の目標を大きな声で発表。一日の結果は、下校時に校舎に向かって発表します。達成できれば次の日は新たな目標を、達成できないときは次の日に再チャレンジします。**体力推進の取り組み**
 秋山小学校の子どもたちは、伝統的に高い運動能力を誇ります。スポーツ少年団活動では、過去に男子バレーボールチームが全国大会に出場するなど好成績を残しています。児童数の減少で男子チームがなくなった現在も、女子バレーボールチーム

が各大会で奮闘中です。また、全校児童で一輪車にも取り組んでいます。新入生には上級生が優しく指導。5・6年生になると高さ2m以上の一輪車を乗りこなすまでに到達。その成果は運動会で披露します。**地域との交流**
 秋山小学校の運動会は、地域の運動会を兼ねて盛大に開催されます。校区内4地区に分かれたの対抗戦に、ほとんどの地域住民が参加。各種競技で毎年大盛り上がりです。地域のみならず、毎年楽しみにしています。**少人数であることを生かして**
 福島啓介校長は「本校は少人数の学校です。ですが、人数が少ないということを最大に生かし、一人ひとりを大切に、ていねいに育て、子どもたちの力を伸ばしてあげたいですね」と話してくださいました。

大人対子どもの対決。



親子駅伝大会

地域との交流が盛んな秋山小学校。毎年12月に開催される駅伝大会にも地域の皆さんが参加します。大会は保護者チーム、地域の消防団チーム、子どもたちが2チームに分かれての計4チームが参加。地域内の特設コースを、それぞれタスキをつなぎながら競争します。コース沿いでは大勢の地域住民の皆さんが選手たちに声援を送り、たいへんな盛り上がりよう。元気な子どもたちや若手の消防団チームに対し、運動不足の保護者チームには容赦のない叱咤激励の声も飛び交っています。親子駅伝大会は、何十年も続いている秋山小学校伝統の行事なのです。